

第二次和歌山県消費者教育推進計画 団体等の取組

団体名	取組名	内容	令和元年度実績	令和2年度予定
NPO法人消費者サポート ネット和歌山	セミナー開催	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会づくりに寄与するため、毎年1月と5月に、その年の関心の深いテーマを選んで一般対象向けにセミナーを開催。	令和元年5月26日、6月15日、令和2年2月1日開催 延べ参加者230名	令和2年5月23日(新型コロナウイルスで延期)、令和3年1月30日
	出前講座	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会の一員として自ら考え、行動できるよう、各年代(小学校・中学校・高校・支援学校・大学・一般)に応じた消費者教育・消費者啓発講座を実施。	県内10校で実施 760名 一般40講座実施 2,121名	県内10校以上 一般30講座で実施予定
	見守り育成事業	高齢社会の中で地域で見守り活動を行う人材を育成。	3回(橋本市、民生児童委員他)211名	2回以上実施予定
	情報発信事業	消費生活等に関する情報発信により、消費者被害の防止を図り、自立した消費者を目指す。	年3回、「くらしの情報アンテナ」を発行。 消費者教育教材資料作成チームに参加	年3回、「くらしの情報アンテナ」を発行
和歌山県生活協同組合連 合会	消費者啓発講座・学習会	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について、学び行動し、安心して安全な地域社会をめざす。	消費者啓発講座 県内4か所(橋本市、有田市、田辺市、和歌山市)消費者ネットワークわかやまの啓発講座開催に協力及び参加	消費者啓発講座 県内4か所(海南市、紀の川市、田辺市、和歌山市)消費者ネットワークわかやまの啓発講座開催に協力及び参加
	消費者啓発	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について、学び行動し、安心して安全な地域社会をめざす。	8/31 公開学習会「キャッシュレス時代の消費者トラブル防止策」消費者ネットワークわかやまの公開学習会開催に協力及び参加	9/19 公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」消費者ネットワークわかやまの公開学習会開催に協力及び参加
	生協連ニュースの発行	発行する広報誌に消費者被害の事例を掲載することで消費者被害の防止を図る。	広報誌を年1回発行し、消費者被害防止のための事例紹介	広報誌を年に2回発行し、事例を紹介し消費者被害防止を図る
	和歌山大学経済学部 寄付講義で授業を担当	和歌山県労協による寄付講義で講師を務め、学生に消費者教育の一環として生協を知らせる	7月に3コマの授業を担当し、わかやま市民生協、和歌山中央医療生協から講師を派遣	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度寄付講義は閉講
	SDGs学習会の開催	和歌山県協同組合組織連絡会として、県内4つの連携・連帯を一層強化し、持続可能なより良い社会の実現を目指すことについて「SDGsの取り組みに向けた申し合わせ」として確認した。	-	8/18 県協同組合組織連絡会主催で、SDGsカードゲームの体験を中心とした学習会を開催
	認知症サポーター養成研修受講	地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」をつくる「認知症サポーター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」の養成研修の受講について会員生協に呼びかけ	-	10/9 県主催 認知症サポーター養成講座の講師役「キャラバン・メイト」の養成講座の受講を会員生協に案内
わかやま市民生活協同組 合	1日エコライフ	自分たちができることから楽しく家庭で省エネについて考える啓発のため、エコライフチャレンジシートの取組を実施。	夏の一日エコライフ(8月19日～23日): 参加人数:8,868人 減らせたCO ₂ :995kg 冬の一日エコライフ(2月17日～21日): 参加人数:4,940人 減らせたCO ₂ :657kg	令和2年8月と令和3年2月に実施
	消費者啓発講座・学習会	消費者被害のない、だれもが安心して暮らすことのできる和歌山県の地域づくりに向けて、消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座を開催。また、消費者市民社会の形成に関したCSR活動を行います。	4/20 「笑って脳力アップ～ダメされない脳をつくる～」(参加:90人) 8/31 第1回公開学習会「キャッシュレス時代の消費者トラブル防止策」(参加:80人) 2/22 第2回公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」(新型コロナウイルス感染予防のため中止) 11/24～27 和歌山県消費生活センター相談員に講師を依頼し、和歌山市、岩出市、御坊市、新宮市で消費者啓発講座「通信販売の落とし穴」を開催(参加:61人)	9/19 公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」を予定 9/24～10/16 和歌山県消費生活センター相談員に講師を依頼し、和歌山市、紀の川市、田辺市、海南市で消費者啓発講座「最新の消費者トラブルと対処法」を予定 2月に公開学習会を予定
	わがまち調べ活動	私たちの住む街のことを知り、くらしを見直すため、防災や環境、福祉、消費者行政などをテーマに和歌山県全市町村を訪問し、意見交換を実施。	2019年10月～2020年2月に和歌山県下26市町村訪問。調査内容と各訪問自治体数は「消費者行政」9市。「介護行政」1市3町1村。「子育て行政」1市8町。「防災行政」2市4町。「環境(SDGs)行政」1市参加のべ133人	9月「消費者行政」9市で調査予定。9月から「介護行政」「子育て行政」「防災行政」「環境行政」等を調査予定
	食の安全に関する学習会	食の安全の取組について学ぶため、わかやま市民生活協同組合の商品政策に基づいた食の安全に関する学習会を開催。	食の安全の取組及び商品学習を事業所ごとで行い、商品提案を行った	商品政策改定とともに食の安全について学習 品質保証レポートの学習をすすめる
	エシカル消費のとりくみ	持続可能な社会の実現を目指して、エシカル消費の学習会を実施。	地域ごとで学習会でエシカル消費の学習を行った(7地域11回開催)	各地域で学習会の予定
	防災のとりくみ	地震や台風など自然災害の発生に備え、地域で防災のとりくみを開催。	8/6 「防災にも役立つバッククッキング」についての学習会と「稲村の火の館」を見学 参加:大人15人子ども12人	とりくみ具体化中。
	子育て支援としての親子参加型のとりくみ	未就園児とそのお母さんなど子育ての世代の方々が交流できる場を開催。	1/27 那賀地域ゆるカフェ～あ!「便利・コープのお助け離乳食幼児食」6人参加 2/15・16 和歌山市、岩出市の店舗で「お仕事体験」子ども28人参加	とりくみ具体化中。

消費者ネットワークわかやま	消費者問題学習会	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、啓発講座を開催。	11/14～27 県消費生活センター相談員に講師を依頼し、消費者啓発講座「通信販売の落とし穴」を開催(和歌山市、岩出市、御坊市、新宮市 参加:61人)	9/24～10/16 県消費生活センター相談員に講師を依頼し、消費者啓発講座「最新の消費者トラブルと対処法」を予定(和歌山市、紀の川市、田辺市、海南市)
	消費者行政ヒアリング調査	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、消費者行政ヒアリング調査を実施。	10月～11月 「消費者行政」調査で9月に訪問 参加のべ63人	9月に9市調査予定
	公開学習会	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、公開学習会を開催。	8/31 第1回公開学習会「キャッシュレス時代の消費者トラブル防止策」(参加:80人) 2/22 第2回公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」は新型コロナウイルス感染予防のため中止	9/19 第1回公開学習会「ネットショッピングモール等の事業者が介在する取引の注意点」を予定 2月 第2回公開学習会を予定
和歌山県くらしの研究会	生活文化セミナー、機関誌発行	自立した消費者を目指し、機関誌の発行、街頭啓発へ協力、生活文化セミナーを開催、記念講演会を開催。	なし	未定
和歌山県食生活改善推進協議会	出前講座	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、各年代に対し、食育教室、料理教室、健康づくり教室を開催。	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:13回352名 ・単身男性を対象とした料理教室:5回58名 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:4回116名	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:13回 ・単身男性を対象とした料理教室:3回 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:4回
	啓発	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、啓発活動を実施。	世界禁煙デー(5月31日)の啓発:18回	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止(5/31)
和歌山県生活学校連絡協議会	環境に配慮した運動	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の普及、マイバッグ運動の推進、食品ロスの削減等のために、家庭で実践できる環境に配慮した運動の輪を広げる。	3Rの普及、マイバッグ運動の推進、食品ロス削減、食を通して子どもの居場所づくり、3世代の交流研修会「認知症とは～予防から介護まで～」を実施	レジ袋削減に関する事業、食育に関する事業、悪徳商法に対応する研修
(一社)和歌山県LPガス協会	人を育むLPガス(子供たちへの火育・食育活動)	炎を扱うプロとして、火育・食育を通して人と食の文化を子供たちに伝える。	ふれあいLPガスフェア開催時にLPガスコンロでの食育を実施した	フェア開催に、火育・食育を通して人と食の文化を子供たちに伝える
	LPガス快適生活向上運動	高齢者のみで生活する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、「もっと安全さらに安心」を啓発する。	1,444戸の高齢者家庭を訪問し、安全点検を実施するとともに、お困りごと等の相談にも対応した。	高齢者のみで生活する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、「もっと安全さらに安心」を啓発する。
(一財)和歌山県老人クラブ連合会	研修会・啓発資料配布	高齢者に対し、消費生活に関する情報の提供、消費者教育・啓発活動を推進して、高齢者の消費者被害の未然防止・拡大防止及び早期発見を目指し、研修会の開催、啓発資料の配布。	5月開催の女性部会において、消費者問題について、県下市町村老連に周知と取り組みの推進を図った。11月に市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催し、基調説明や中央会議報告や事例発表により消費者被害の未然防止につなげた。	11月に市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催予定
花王株式会社(花王エコラボミュージアム)	環境活動の情報発信と啓発	地球環境に配慮したモノづくりを目指す花王のエコ技術の情報発信のため、先端のエコ技術を体験する施設を開設。	年間約12,000人来館	新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数減少の見込み
和歌山県漬物組合連合会	梅干しで元気!!キャンペーン	日本古来の代表的な加工食品であり、県特産品である「梅干し」の歴史、生産方法や機能性などを小学校、特別支援学校の児童に学んでもらうことで、梅干しを一層身近なものとして食する習慣を養うとともに、一人ひとりが自分の食について関心を持つ契機とするため、県内小学校に学習教材を配布、梅干しの贈呈、出前授業を実施。	県内250校へ梅干しを配布。内7校で梅干しの贈呈、出前授業を実施した。	県内小学校、特別支援学校の児童及び教職員を対象に10月に実施予定
和歌山弁護士会	出前講座	架空請求、マルチ被害などの消費者被害にあわないための心構え、法的観点、対処法を伝えるため、出前講座を実施。	-	依頼に基づいて実施
	児童養護施設退所者等アフターケア事業	児童養護施設の高校生向け授業(生活技術講習)の中で、毎年、消費者問題を取り上げている。	10月19日に開催。	開催予定
和歌山県司法書士会	高校生等法教育事業	高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施している。特に本年度は成人年齢18歳引き下げに伴い、1,2年生への講義も視野に入れて行う予定。	和歌山県下の高等学校、専門学校等合計6校、7回講義を実施した。	コロナウイルス感染症のため未定
(一社)和歌山県不動産鑑定士協会	無料相談会	不動産鑑定制度への理解と周知を図るため、不動産の有効利用や不動産の評価等について無料相談を実施。	16回開催	7回開催予定 (コロナ感染症対策のため開催が4月からの開催なし。状況が落ち着けば9月より開催予定)